

第17回 Re-Seed セミナー

「どうなる！2017年度の日本と不動産市場」

A-2 金融緩和下における住宅市場の姿

～住宅市場の現状・過去・未来～

■開催日時：2017.7.7（金）15：00～17：00

■講師：住宅金融支援機構 調査部

主席研究員 松家 真一 氏

<略 歴> 昭和61年 大阪府立大学経済学部卒、住宅金融公庫（現 住宅金融支援機構）入庫。

平成6年 埼玉大学大学院政策科学研究科修了。

財団法人住宅金融普及協会調査部、建設省住宅政策課出向、大阪支店、融資第一部、人事部、企画部、経理部、福岡支店、住宅総合調査室、監査部を経て、平成29年4月から現職。

■講座概要：昨年度の当セミナーにおいてホテル、物流を取り上げたことに引き続き、今回は住宅にスポットを当てました。

キャッシュフローの安定性が優れている住宅は、市況悪化時に投資対象として選好されやすいと考えられてきました。

低金利が長く継続し、相続対策などからアパート向け融資が盛んになるなど、住宅投資は活発な状況が続いていますが、

このような活況が長く続くものなのか気になるところです。

このセミナーでは、現在の住宅市場についてこれまでの歩みを振り返り、人口減少社会に突入した日本の住宅を取り巻く環境を踏まえ現状の課題と今後の住宅市場について展望していただきました。

